

科目名	英文学・英語学基礎講読Ⅰ		
曜日・講時	木曜3限		
セメスター	3	単位数	2単位
担当教員	T I N K J A M E S M I C H A E L		
科目ナンバリング	LHM-LIT217E	使用言語	英語 (English)
メディア授業科目		主要授業科目	○
授業題目	英語で読む現代の怪談 呪われた近代 [Modern Ghost Stories in English: Haunted Modernity]		
授業の目的と概要	このクラスでは、19世紀から20世紀初頭にかけての、幽霊や超自然現象を題材にした短編小説を取り上げる。この時代、モダン・ゴースト・ストーリーは、それまでの超常現象やゴシック小説の形式を適応させ、近代的知識の境界の変化を反映させながら、人気のピークを迎えました。このコースでは、これらの物語の重要な例を読み、その文学的、歴史的背景を考察する： ヴィクトリア朝の大衆文化と民間信仰、科学と宗教、心理学、ジェンダーとセクシュアリティ、国境を越えた執筆、モダニズム小説の発展などである。		
学修の到達目標	このコースでは以下の目標を達成する： (1)英語で書かれた短編小説のセクションを読む (2)19世紀と20世紀の文学の背景と幽霊に関する考え方を理解する (3)英語の小説を理解し、議論するためのスキルを身につける。		
授業内容・方法と進度予定	1: はじめに イギリス怪談の起源 2: イングリッシュ・ゴシック エリザベス・ギaskell 『老看護婦物語』 3: アメリカン・ゴシック フィッツ＝ジェームズ・オプライエン 『何だったのか？』 4: ヴィクトリア朝の超自然： エドワード・ブルワー＝ライトン 「幽霊と憑き物」 (Edward Bulwer Lytton, "The Haunted and the Haunters") 5: センセーション・フィクション メアリー・エリザベス・ブラッドン 「冷たい抱擁」 6: 産業界の幽霊： チャールズ・ディケンズ 『信号手』 7: アイルランド・ゴシック： シェリダン・ル・ファヌ "Green Tea." 8: スコティッシュ・ゴシック マーガレット・オリファント "The Open Door" 9: 帝国ゴシック： ラドヤード・キップリング "航路の果てに" 10: 日本の幽霊： ラフカディオ・ハーン 「ナイトメア・タッチ」 11: 怪奇小説： W.W.ジェイコブス 「猿の足」 12: 呪われたイギリス M.R.ジェイムズ 『ああ口笛を吹いて、あなたのもとへ行こう』 (原題： Oh Whistle, and I'll Come to You My Lad) 13: 呪われたアメリカ アンブローズ・ピアース "The Moonlit Road" 14: モダニズムの幽霊： エリザベス・ボーウェン "The Demon Lover" 15: おわりに		
成績評価方法	小論文 各20%、中間テスト20%、期末テスト20% 期末エッセイ40		
教科書および参考書	The Penguin Book of Ghost Stories: From Elizabeth Gaskell to Ambrose Bierce, edited by Michael Newton (Penguin, 2010),		
授業時間外学修	英語によるライティング課題（リアクション・コメント、短答）、リーディングに関する多肢選択式テスト。		
実務・実践的授業			
その他			

1 単位の授業科目は、4 5 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1 単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については1 5 ～3 0 時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）3 0 ～1 5 時間、「実験、実習及び実技」については3 0 ～4 5 時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）1 5 ～0 時間です。